

新教科書の観点別編集の特色

令和6年度用「家庭」文部科学省検定済教科書
9 開隆堂504 家庭

●教育基本法との関連

検討の観点	内容の特色	参照
教育基本法第2条に規定された教育目標を達成する内容となっているか。	<p>①知識や技能の確実な習得のために、基礎・基本を重視し、3つのステップで問題解決的な学習が「ステップ1 気づく・見つける→ステップ2 わかる・できる→ステップ3 生かす・深める」として段階的に習得できるように題材が設定されている(第1号)。</p> <p>②個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養うよう、自分の考えを記入できるように、各題材の学習の終わりには創造性を培う活動場面が「生かす・深める」として設定されている(第2号)。</p> <p>③家庭生活に関する題材で、家庭や家族の大切さを、また消費生活に関する題材で、生活に必要な物を得るための収入は、家族が働いて得られる限りある大切なものであることを記述し、家庭実践に結びつくように工夫されている(第2号)。</p> <p>④調理実習や製作実習では、児童の意欲を尊重し、つくりたいものを考えることが促されている(第2号)。</p> <p>⑤職業観を養い、社会に目を向けられるよう、実際に働いている21名からのメッセージが関連該当箇所及び特設ページで紹介されている(第2号)。</p> <p>⑥地域の人々とともに協力して主体的に社会の形成に参画できるようにいろいろな事例が取り上げられている(第3号)。</p> <p>⑦実習や活動を通して、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるように本文をはじめ、写真やイラスト等にも配慮されている(第3号)。</p> <p>⑧お茶や和食、郷土料理、伝統的な工芸品、建築技術などが取り上げられ、日本各地の伝統文化の事例を充実させることで、我が国の独自の文化と先人の工夫に気づき、愛着をもつことができるように配慮されている(第4号)。</p> <p>⑨人とのふれ合いやかかわりを通して、感謝の気持ちを表わしたり、世代の異なる人や他国の文化など交流したりすることで、他者、他文化を尊重する大切さがわかるように配慮されている(第5号)。</p>	<p>①教科書全体</p> <p>②教科書全体</p> <p>③p.8・9、34~37、58~65、74~76、80・81、84~87など</p> <p>④p.18・19、26・27、37、42~47、80~83、93、113~117、123など</p> <p>⑤p.16、18、46、64、76、93、97、103、107、109、121、130、138・139</p> <p>⑥p.126~131</p> <p>⑦教科書全体</p> <p>⑧p.11、19、48~57、76、103、106・107、121、125など</p> <p>⑨p.74~77、83、126~121</p>

●学習指導要領との関連

【目標との関連】

検討の観点	内容の特色	参照
見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようとする工夫がなされているか。	<p>○生活の営みに係る見方・考え方の観点を各題材の最初に四つ葉のクローバーで表現しており、実践的・体験的な活動を通して生活をよりよくしようとする資質・能力が育まれるよう配慮されている。</p>	<p>○p.1・2「はじめよう!家庭科」、p.8、10、20、28、34、38、48、58、66、70、74、84、88、94、98、104、110、118、126、132</p>
(1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けられるようになっているか。	<p>①家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能をスモールステップで積み上げ、身に付けられるつくりとなっている。</p> <p>②調理や製作の実習では「できたかな」を設け、できるようになったことをふり返ることで技能の定着を確認することができる。</p> <p>③基礎技能を「実習に役立つワンポイント」にまとめ、いつでも確認できるようになっている。</p>	<p>①教科書全体</p> <p>②p.15、23、25、27、41、47、51、53、91、115</p> <p>③p.148・149、151・152</p> <p> できたかな [ボタンつけ]</p>
(2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養うことのできるつくりになっているか。	<p>①生活を見つめることから問題を見だし課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践し、実践を評価・改善して考えを発表するなどの課題解決する力が養えるつくりとなっている。</p> <p>②各題材の最初には題材を象徴する写真やイラストとともに問いかけが配置され、課題設定につながりやすくなっている。</p> <p>③児童の設定した課題を表現する欄が設定されており、課題解決に向けて意識付けしやすくなっている。</p> <p>④題材の最後には「ふり返ろう」「生活に生かそう」が設定されている。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>家庭の仕事でできるようになりたいことは何かな? </p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; background-color: #f9f9f9;"> <p> 学習をふり返ろう</p> <p>34ページの学習のめあての□にチェックしましょう。</p> </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; background-color: #f9f9f9;"> <p> 生活に生かそう</p> <p>これからの生活に生かしたいことを書きましょう。 </p> </div> </div>	<p>①教科書全体</p> <p>②p.8、10、20、28、34、38、48、58、66、70、74、84、88、94、98、104、110、118、126、132</p> <p>③p.9、10、20、28、34、38、48、58、66、70、74、84、88、94、98、104、110、118、126、132</p> <p>④p.19、27、33、47、56、65、69、73、77、87、93、97、102、108、117、124、131、135</p>
(3) 家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようとする実践的な態度を養うことのできるつくりになっているか。	<p>①家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようとする実践的な態度を養うため、題材が工夫して配置されている。</p> <p>②児童の主な生活の場である家庭には様々な状況があることに配慮し、いろいろな家族の形を取り上げ、家庭実践への配慮がなされている。</p> <p>③「共に生きる地域での生活」では地域の一員として行う事例が多く掲載されている。</p>	<p>①教科書全体</p> <p>②p.34~36、74~76、84~87</p> <p>③p.126~131</p>

【内容構成との関連】

検討の観点	内容の特色	参照
内容構成は家庭科の教科目標や指導計画に準拠しているか。	○学習指導要領の「家庭科の目標及び内容」「指導計画の作成と内容の取扱い」が明確に整理され、個に応じた創意ある学習指導が展開できる構成となっている。	○教科書全体
学習指導要領の内容を相互に関連した題材構成上の配慮があるか。	○学習指導要領の内容AとB・C及びCとBを関連付けて学習できるように工夫して構成され、無理なく基礎・基本をおさえた学習ができるように、適切な配慮がされている。	○p.28～33「整理・整とんで快適に」、 p.84～87「生活時間をマネジメント」、 p.88～93「できることを増やしてクッキング」、 p.94～97「クリーン作戦で快適に」
生活の営みに係る見方・考え方と関連をはかるための対応がなされているか。	①生活の営みに係る見方・考え方に示された視点が全体を通して展開されている。 ②生活の営みに係る見方・考え方を「生活の見方・考え方 4つの視点」として図化し、教科書全体に渡って配置されており、一連の学習過程の中で「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせることのできるつくりになっている。	①教科書全体 ②p.3、8、10、30、28、34、38、89、58、66、70、74、84、88、94、98、104、110、118、126、132など
家庭科の内容が時間軸・空間軸の視点で整理されているか。	○家庭科の3つの内容A、B、Cが空間軸と時間軸で整理されており、小学校における空間軸の視点である自己と家庭と時間軸の視点である現在及びこれまでの生活をわかりやすく表に整理してある。	○表紙～p.2「学んで変わるよ わたしたち」
ガイダンスは取り組みやすいページになっているか。	○ガイダンスを冒頭のページに設けている。その際、第4学年までの学習をイラストや写真で振り返ることでこれまでの成長を自覚し、2年間の学習の見通しを持たせられるつくりになっている。	○表紙～p.2「学んで変わるよ わたしたち」
A(4)「家族・家庭生活についての課題と実践」について取り組みやすいつくりになっているか。	①p.37「レットトライ！生活の課題と実せん」で課題解決のステップが紹介されており、児童が実践の計画を立てやすくなる工夫がされている。 ②取り組み時期も考慮された課題例が複数紹介されていることにより児童が実践のイメージを持ちやすく工夫されている。実践の場も家庭だけでなく地域や学校など、地域や実態に沿って実践できるようになっている。	①p.37「レットトライ！生活の課題と実せん」 ②p.80～83「生活の課題と実せん例①～④」
家族・家庭生活に関する内容では、地域の人たちとの関わりが工夫されているか。	○幼児または低学年や高齢者など異なる世代の人たちとの関わり、地域の中で共に生活する視点で題材が構成されている。	○p.74～77「いっしょに『ほっとタイム』」、 p.126～131「共に生きる地域での生活」
食育の推進に関する内容は充実しているか。	①食事の役割について考え、調理の基礎を習得し、栄養を考えた食事の献立を立てることができる題材構成になっている。 ②折込みの「栄養素の働きによる食品の分類」は、食に関するどのページにも開いたまま活用できるように工夫されている。 ③食事のマナーや食物アレルギーについても取り上げられている。	①p.10～19「クッキングはじめの一步」、 p.48～56「食べて元気に」、 p.88～93「できることを増やしてクッキング」、 p.118～124「こんだてを工夫して」 ②p.150「栄養素の働きによる食品の分類」 ③p.13「食事のマナー」、 p.17「食物アレルギーに注意」
食生活と関連させて毎日の生活を振り返り、改善できるようつくりになっているか。	○生活時間の工夫と朝食を関連付け、生活を総合的に捉えた望ましい題材であり、自らの生活習慣を見直して食生活を改善するなど、健康に過ごすための実践的な態度が育てられる。	○p.84～87「生活時間をマネジメント」 「できることを増やしてクッキング」
日本の伝統的な食文化や郷土や地域に関する内容に十分配慮されているか。	①ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食」を取り上げ、「一汁三菜」についてもふれられている。 ②地域の食材を取り入れた調理にも対応できるように、郷土食や伝統的な食文化が具体的に示されている。	①p.49「日本の伝統的な食事（和食）」、 p.57「一汁三菜」 ②p.57「～暮らしの中の文化にふれてみよう～『食文化』」、 p.77「地域のおやつを調べてみよう」、 p.125「～暮らしの中の文化にふれてみよう～『食文化』」
日本の生活文化に関する内容の充実への対応	①日本の生活文化について衣食住の各題材で取り上げられている。また、「伝統文化マーク」を日本の伝統的な生活文化を取り上げた箇所につけてわかりやすく示されている。 ②生活文化に関する特設ページが設けられている。	①p.13「緑茶のいれ方・供し方」、 p.19「ゆでる調理である和食にチャレンジ」、 p.50～53「ご飯とみそ汁」、 p.53「だしの材料と主な産地」、 p.57「一汁三菜」、 p.76「いろいろなお茶」、 p.77「地域のおやつを調べてみよう」、 p.105「すだれ、よしず、打ち水」、 p.106「風鈴、すずしく過ごすための工夫例」 ②p.57、103、109、125
消費者教育に関する内容の充実について配慮されているか。	①消費者教育として基本的に共通することは大きく2つの題材として取り扱っているほか、2学年を通して他の題材の中でも学習内容と関連付けて取り扱い、消費者としての実践的態度が身に付けられるよう工夫されている。 ②買い物の仕組みや消費者の役割について課題を持って活動できるよう工夫した構成になっている。 ③環境に配慮した買い物や物の使い方を考えることができ、購入するために必要な情報の収集・整理ができるつくりになっている。	①p.28～33「整理・整とんで快適に」、 p.58～65「生活を支える物やお金」 ②p.58～65「生活を支える物やお金」 ③p.28～33「整理・整とんで快適に」、 p.58～65「生活を支える物やお金」、 p.124・125「持続可能な社会を生きる」、 p.132～135「持続可能な社会のために」

検討の観点	内容の特色	参照
基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための内容の充実に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎的・基本的な知識や技能に関する内容が厳選して的確に記述され、易から難へと確実な習得ができるようによく工夫されている。 ②調理や製作などの実習手順図は、児童の視線の流れを考慮して見開きページを使って横に流れる記述で、基礎・基本を習得するための適切な配慮がされている。 ③5学年最初の調理実習では、湯をわかしてゆでる調理題材を4つに細分化して構成・配列し、細かなステップを踏んで繰り返し学習して、早い段階から調理の基礎・基本の定着を図る工夫がなされていて適切である。 ④技能面の写真は詳細かつ分かりやすくていねいに表現され、細部については拡大写真やイラストを添えるなどして、きわめて適切な配慮がされている。特に調理の手順については、すべて写真で示されているので、児童が状態を確認しながら作業を進められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①教科書全体 ②p.14・15、22～25、30・31、44～47、50～53、62・63、90・91、100・101、114・115など ③p.10～19「クッキングはじめの一歩」 ④p.10～19「クッキングはじめの一歩」、p.20～27「ソーイングはじめの一歩」、p.38～47「ミシンで楽しくソーイング」、p.48～56「食べて元気に」、p.88～93「できることを増やしてクッキング」、p.110～117「ソーイングで生活を豊かに」、p.118～124「こんだてを工夫して」
知識及び技能を実生活で活用するための内容の充実に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ①学習で習得した知識及び技能などを実生活で活用するために「生活の課題と実践」として課題を設定し、実践的な活動を家庭や地域などで行えるページを設けている。 ②各題材の最後には「生活に生かそう」の欄が設けてあり、家庭や地域などで学習で身に付いた知識や技能などを生活に生かすことのできる仕組みになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①p.80～83「生活の課題と実せん例」 ②p.19、27、33、36、47、56、65、69、73、77、87、93、97、102、108、117、124、131、135

●教科書構成上の配慮や工夫

検討の観点	内容の特色	参照
内容の分量は適切であるか。	○各学年の題材内容の分量は児童の発達段階に沿って適切に配列されている。	○教科書全体
授業時数及び各項目の履修学年への対応は適切に構成されているか。	○5学年で11題材、6学年では9題材が設定されている。5学年はスモールステップで反復学習をして基礎・基本の定着を図るために題材が設定されており、5学年の年間60時間に対応している。6学年は5学年で学習した技能も生かした9題材で年間55時間の授業時数に対応できる。	○教科書全体
児童の発達に合わせて題材が配列され、学年の順序性は適切に展開できるように配慮がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎的・基本的な知識・技能を適切に習得できるよう配列されている。また題材が細かく区切られているので組み換えがしやすく、地域や学校の実態に応じて指導できるようになっている。 ②2学期制にも対応できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①教科書全体 ②「題材一覧・配当時数」を参照
主体的・対話的な学習への工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ①題材の最初のページには大きな写真やイラスト等を通して題材の見通しを持てるようになっている。また児童が見つけた課題を記入できるスペースを設けている。課題解決に対する適切な本文の記述や資料が配置され、主体的に課題に取り組めるよう工夫がされている。 ②児童同士で対話をしたり意見を交換できるような学習活動を多数取り入れており、児童同士や家族・身近な人たちとの会話を通して考えを明確にするなど児童自らの考えを広げて深められるような仕組みになっている。 ③ステップ3の「生かす・深める」では児童がさらなる課題に向けて主体的に取り組めるようになっている。また取り組み方は対話的な事例が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ①各題材の最初のページ ②p.29、33、69、76、86、102、108、111、124、130ほか ③p.18、27、33、36、47、56、65、69、73、76、87、93、97、102、108、117、124、131、135 <div style="text-align: right;">  </div>
課題解決的な学習は、どのように扱われているか。	○①気づく・見つける→②わかる・できる→③生かす・深めるの順で学習を進めることによって、課題解決的な学習に取り組むことができ、全体を通して一貫している。	<ul style="list-style-type: none"> ○p.3「この教科書の見方・使い方」、p.6・7ほか <div style="text-align: right;">  </div>
言語活動が充実するような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ①実践的・体験的な活動を通して、話し合いの活動や思考する活動、意見を述べる活動など様々な言語活動ができるようそれぞれの題材に配置されており、学んだ知識や技能を生活に生かせるよう工夫されている。 ②実験や観察、実習の際の計画を立てる場面やレポート作成、考察・発表等の場面が学習過程の各所に設定されている。 ③課題に取り組む場面やふり返り場面など発表や意見交換場面が随所に示されており、児童が自分の言葉で表現できるように配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①p.27、29・30、35・36、96、102、108、116、124、130ほか ②p.18、29、35・36、42、60、75、85・86、93、95、113、121・122、129、134ほか ③p.33、69、102、108、111ほか
現代的な話題や課題などを取り上げて、児童が関心を持って学習に取り組めるような工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ①児童の話し合いや発表場面ではICT機器を使用した表現となっており、活用しやすくなっている。 ②タブレット端末ケースの作り方や、新型コロナウイルスに関連したマスクの作り方を掲載するなど現代的な話題が紹介されている。 ③SDG sの取り組みや取り組み方の具体例が示されている。 ④児童の食物アレルギーへの理解を深め、安全・安心な食生活を営むための注意・喚起を促している。 ⑤多様性と人権の尊重を重視して、イラストや写真でも読み取れる工夫が随所にされている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①p.29、33、69、74～76、80・81、86、108、111、112、116、129、130ほか ②p.43、116 ③p.2、78・79、133、134 ④p.16、17、92 ⑤p.1、58・59、74、108、126・127、130・131
URLの記載や二次元コードの記載によって、学習に効果的なコンテンツの提供がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ①各ページに記載された二次元コードから参照するコンテンツを活用することで児童がより主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ②動画や資料が豊富で、児童の理解や活動の手助けとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①教科書内の二次元コード先を参照 ②教科書内の二次元コード先を参照

検討の観点	内容の特色	参照
題材の系統性は適切であるか。	①5年生11題材、6年生9題材が各学年のテーマのもと、学習のつながりを考慮して配列されている。 ②各題材とも、基礎的・基本的内容の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開され、児童の思考の流れに沿っていて、教科の特徴が無理なく具体化されている。	①教科書全体 ②教科書全体
題材に魅力があり、多様な扱いができるか。	○住生活と環境を組み合わせた「整理・整とんで快適に」や、消費生活と環境を組み合わせた「生活を支える物やお金」など地域や学校の事態に合わせた使い方ができる。また題材の組み換えもしやすいつくりとなっている。	○p.28～33「整理・整とんで快適に」、p.58～63「生活を支える物やお金」、p.84～93「生活時間をマネジメント、できることを増やしてクッキング」、p.132～135「持続可能な社会のために」など
図表・写真・イラスト等は学習の内容に関連して適切に用いられているか。	○課題を解決するための手がかりや本文内容の理解を助ける資料が、効果的な表現や分量・大きさで示されている。	○教科書全体
各種マーク・キャラクターは学習意欲を喚起し、主体的な学習を促す表現となっているか。	①児童が関心や意欲を持って主体的に楽しく学習を進められるように、目立ちやすいマークが効果的に用いられている。 ②児童に寄り添う4人の小学生のキャラクターが登場している。疑問を投げかけたりつまづきやすい内容について注意を喚起したりして、学習上きわめて効果的である。 ③ナビキャラクターであるクローバーとカラフルうさぎが登場し、児童の学習のポイントを伝えている。 ④学習の途中に登場するキャラクターのクローバーは「生活の見方・考え方4つの視点」がかかれた四つ葉の葉を持ち、その学習で働かせる見方・考え方が意識できるよう工夫してある。	①教科書全体 ②p.1、8・9、84など多数 ③教科書全体 ④p.3、29、31、32、33、35、37、43、56、73、97、101、102、122、124
発展的に学習する内容の工夫がなされているか。	①発展的な学習内容には「発展マーク」を付して明確にしている。 ②伝統文化の尊重と関連した内容なども取り上げている。	①p.65「エシカル(倫理的な)消費って何だろう」、p.77「日本や世界のほっとタイム」、p.109「未来に伝えたい日本の伝統建築」、p.123「目玉焼き」 ②p.109

●児童にとって使いやすい紙面への配慮事項

検討の観点	内容の特色	参照
教育のICT化への取り組みや一人一台端末の活用についての取り組みは十分になされているか。	①一人一台端末やインターネットを使用して情報収集したり学んだことを発表したりして活用する場が多数掲載されている。 ②二次元コードから参照するコンテンツの書きこみカードを使用することで児童同士の意見の共有ができ、学びを深めていくことができる。	①p.29、33、69、76、80・81、86、108、129、130ほか ②教科書の二次元コード先を参照
ユニバーサルデザインに関する配慮がなされているか。	①カラーバリアフリーの観点から、弱視の子どもたちに読み取りやすい配慮がされている。 ②ユニバーサルフォントを使用し、どの児童にも見やすく読みやすい文字となっている。 ③様々な発達特性に配慮するため、本文以外の資料等には囲んだり色をつけるなどして区別できるように工夫がされている。	①教科書全体 ②教科書全体 ③教科書全体
特別支援の観点に配慮がなされているか。	①実習・製作を横流れにすることで作業の手順が明確になっている。 ②すべての題材の導入にタイトル、見方・考え方、学習のめあて、マイめあて、ステップ1～3を示し、学習の見通しを立てやすいようになっている。 ③調理や製作の写真は児童の目線と同じになるように工夫されている。 ④学習者用デジタル教科書では文字の色や大きさ、背景色の変更、読み上げ機能、総ルビ、リフロー表示など、児童が使いやすいように設定できるようになっている。	①p.14・15、17、22～25、30・31、40・41、44～47、50～53、62・63、75、86、90・92、96、100・101、114・115、122 ②教科書全体 ③教科書内の写真 ④デジタル教科書
多様性への配慮がなされているか。	①様々な年代の人やいろいろな家族を写真で示しており、多様性に配慮されている。 ②イラストに幼児や高齢者、障がいのある人、見た目では分からない障がいや病気のある人、外国にルーツのある人など様々な人が掲載されていることで、児童に多様性の視点が広がるような工夫がされている。 ③車いすを使用したキャラクターが登場するなどインクルーシブ教育の視点が含まれている。	①p.74 ②表紙～p.2、126・127、130・131 ③教科書内のイラスト
学習意欲を喚起し、児童の主体的な学習を促す工夫がなされているか。	①児童が「自分ごと」として興味・関心・意欲をもって学習に取り組めるように、各題材の導入部分での問いの工夫や写真・イラストを楽しいものとなるように紙面を工夫している。 ②児童が作りたいたいと思うような実習題材、製作題材が取り上げられている。	①教科書全体 ②教科書全体
地域性への配慮がなされているか。	①衣食住などの内容に関連させ、総合的に題材が構成されていて、地域での児童の生活を関連付けた学習が展開できる。 ②児童の目が地域に向き、地域の人々との関わりの大切さが認識できるように具体的な活動例が盛り込まれている。 ③地域性を生かした食材や調理例(郷土食)や伝統文化が取り上げられ、それぞれの地域での工夫がしやすい。	①教科書全体 ②p.126～131「共に生きる地域での生活」 ③p.56、57、124、125

検討の観点	内容の特色	参照
安全・衛生面への配慮がなされているか。	①調理実習・製作実習等の際の安全について各題材の適する場所に配置されている。また、「安全マーク」が付してある。 ②安全についての特設ページ「安全と衛生に気をつけて実習しよう」が設けられており、実習や製作の安全指導がしやすく配慮されている。 ③食物アレルギーについて取り上げており、アレルギーのある児童にとっても安全に実習ができるように配慮されている。	①p.11、12、15、17、21、39、40、50、51、52、56、63、72、89、90、96、100、115など「安全マーク」 ②p.142・143 ③p.16、17、92
防災教育について十分に配慮されているか。	①防災についての特設ページ「家庭や地域の安全・防災一学びを生かし、支え合いながら過ごそう」が設けられており、災害前のリスクマネジメントから、災害後の対応を家庭と地域でできることに分けて紹介されている。 ②防災について、日ごろの備えについて家族で話し合う場面や防災用品の備えについての記述などの配慮がされている。 ③防災に関する事項には「防災マーク」が付してある。	①p.144・143 ②p.21、33、76、128・129、131ほか ③p.21、33、51、144・145、147
共生社会の形成に向けた取り組みがなされているか。	①男女の区別や障がいの有無に関わらず、子どもから高齢者まですべての人が平等な関係であることが前提の記述で課題が設定、写真や図も工夫されている。 ②幼児や高齢者、障がいのある人、外国にルーツをもつ人などの関わりを通して地域でよりよい関わり方ができるように配慮されている。 ③多様な家族が登場し、共生の視点で児童が学習できるように配慮されている。	①教科書全体 ②表紙、p.126～131「共に生きる地域での生活」 ③p.74～76「いっしょに『ほっとタイム』」
消費者教育の取り扱いは十分か。	○消費者教育の題材があるほか、消費者として考える内容には「消費マーク」を付し、丁寧に扱っている。	○p.58～65「生活を支える物やお金」、p.60、62、64、92、133、134
環境教育や持続可能な社会等の構築に向けた取り組みについて十分に扱っているか。	①各題材の学習内容と環境を関連付けて取り扱い、実践的態度が身に付けられるように細かい配慮がされている。環境に配慮する視点の箇所には「環境マーク」が付されている。 ②SDGsについて取り上げてあり、持続可能な社会をつくる消費者の一員として児童の意識が高まるように、環境や資源について考えられる内容になっている。 ③5年生で学んだ環境の学習内容が6年生につながるように、環境に特化した特設ページが設けられている。	①p.11、13、14、15、19、26、30、35、63、78・79、90、91、92、109、122、133、134ほか ②p.2、78・79、133、134 ③p.78・79
日本の伝統的な文化についての配慮がなされているか。	①伝統文化の内容には「伝統マーク」が付されている。 ②衣食住などの内容を関連させ、日本の伝統的な文化に関する内容が特設ページに掲載されている。 ③伝統野菜を栽培している生産者の紹介や風呂敷の活用方法を伝える人など、日本の伝統文化の継承に務める人物が多数紹介されている。	①p.49、50、52、53、57、77、103、106、109、125、 ②p.57、103、109、125 ③p.18、103、138
キャリア教育についての配慮がなされているか。	①学習内容に関連する取り組みや仕事をしている人を取りあげ、キャリア教育につながるように工夫されている。 ②「キャリアでつなぐ、持続可能な未来」では、持続可能な社会への実現に向けて日々取り組んでいる人を取り上げ、SDGsの目標達成への理解にもつながるように工夫されている。	①p.16、18、46、64、76、97、103、107、109、121、130 ②p.138・139
プログラミング教育への配慮がなされているか。	○身の回りの電化製品のプログラミングについて紹介されており、学習内容とプログラムされた内容のつながりについて理解が深まる内容となっている。	○p.141・142「生活の中のプログラミング」
中学校との連携への配慮がなされているか。	○小学校で学んだ学習をふり返り、中学校の学習に生かせるよう中学校の学習内容が写真やイラストでわかりやすくまとめられている。	○p.136・137「2年間の学習を中学校の学習につなげよう」
特別の教科 道徳との連携について配慮がなされているか。	○道徳に関連する内容には「関連マーク」を付している。	○p.13、49
他教科との連携についての配慮がなされているか。	①各題材の他教科との関連する部分に「関連マーク」が付してある。 ②各ページのページ番号の横には、家庭科に関する語句の英単語が記載されており、外国語等との関連も配慮されている。	①p.11～16、21、28、34、48～50、54、67、72、85、87、92、100、105、107ほか ②教科書全体

●造本や体裁

検討の観点	内容の特色
印刷は鮮明で見やすく、製本は堅牢で使いやすいものであるか。	①印刷は鮮明で、カラー効果が生かされている。環境に配慮された用紙やインクが使用されている。 ②製本は極めて堅牢で、表紙には水に強い加工が施され、長期の使用に耐えるものとなっている。
表紙は魅力的なものであるか。	○主人公の児童が空を見上げ、家庭科の学習を通して成長していく姿が楽しく夢のある表紙で提示されていて、ガイダンスの入り口としても活用できる。
文章表現や漢字・仮名遣い等は適切か。	①見やすく、読み間違えにくいユニバーサルフォントを使用している。 ②家庭科特有の用語は豆知識などで解説をすることで児童の理解につながるようになっている。
文章表現は適切であるか。表現の工夫はなされているか。	①です・ます調のソフトな表現で、簡潔かつ正確に表記されている。 ②5・6学年配当の漢字については、見開きページごとの初出箇所にふりがながついている。 ③家庭科の基礎・基本となる用語は太字（ゴシック体）にして、目立つように工夫されている。 ④本文では文節が途中で途切れないような分かち書きがなされていて、児童が読みやすくなるよう工夫されている。
レイアウトは見やすく、学習しやすい工夫がなされているか。	①実習や製作は横流れに展開されており、児童が主体的に学べるレイアウトになっている。 ②特別支援教育やインクルージョン&ダイバーシティ教育、カラーユニバーサルデザインの各専門家の助言のもと紙面がデザインされている。